

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は感染症拡大防止で三密を避けるためにも、書面にて会議を行い活動状況や取り組みを委員の皆様伝えていたが、委員からの意見や提案が出しにくい状況である。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に留意しながら対面での会議の再開。 ・当所と委員の双方がコミュニケーションを図り、ホームの課題やテーマを決めて意見の交換や提案をしやすい場を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の方々の意見や提案の聴取し、書面を活用して情報共有を行う。 ・三密に注意しながら対面での会議を再開し、意見交換を行う。 	6ヶ月
2	34	入居者の要介護度が重度化している状況の中、今後予測される事故や病状の悪化に対し随時対応できるようヒヤリハット等の内容見直しを職員間で行い、情報共有や事前の対策を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・些細な事であろうと気づいた職員には報告書に記入してもらい、それを職員間で検討・意見交換を行い重大事故につながらないよう対策を立てる。 ・入居者と職員間でのコミュニケーションの向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医の医師や看護師に助言をもらう。 ・定期的にヒヤリハットの集計・内容の確認を行い、定期的な勉強会において職員間でシミュレーションや対応方法に関する意見交換を行う。 	6ヶ月
3	19 20 49	コロナ禍での閉鎖的な生活により入居者の身体的・精神的な衰えや心理的閉塞が顕著である。5類へ移行となった事で新しい形での入居者の社会的支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をしながら外出支援を行い、入居者の気分転換の場を提供する。 ・感染症対策をしながら対面での面会を再開し、入居者とその家族・友人との交流の場を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出レクリエーションの企画立案・実施 ・感染症対策に関する知識を得るための勉強会の実施 ・地域行事の参加や、地元住民・地元の学生や園児との交流 ・認知症カフェの再開 ・対面での面会の再開 	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。